

## 「敬老の日」に関するアンケート調査結果について

日本生命保険相互会社(社長:筒井義信)は、「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニューのひとつとして、ホームページ(<http://www.nissay.co.jp>)内の「ご契約者さま専用サービス」にて、「敬老の日」に関するアンケート調査を実施いたしました。(回答数:18,069名)

来月は「スポーツ」に関するアンケート調査結果を発表いたしますので、ご期待ください。

### 《調査概要》

【調査期間】 : 平成25年8月1日(木)～8月30日(金)

【実施方法】 : インターネット(PC・携帯電話モバイルサイト)による回答

【調査対象】 : 「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニューアンケートへの訪問者

【回答数】 : 18,069名(男性:10,580名、女性:7,489名)

[名, %]

年代	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	合計
人数	1,162	3,467	6,088	4,715	2,030	607	18,069
占率	6.4	19.2	33.7	26.1	11.2	3.4	100.0

【質問1】 : 「敬老の日」のプレゼントについて

- (1)  「敬老の日」にプレゼントを贈りますか？
- (2)  プレゼントは何を贈る予定ですか？
- (3)  プレゼントは何がほしいですか？
- (4)  「敬老の日」のプレゼントにかける予算はいくらですか？
- (5)  昨年と比べて高いですか？安いですか？
- (6)  プレゼントの希望金額は？

【質問2】 : 老後の生活について

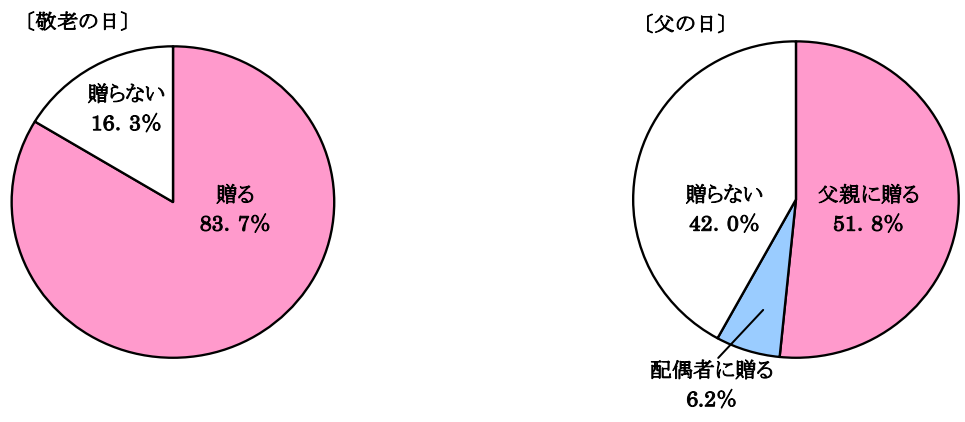
- (1) ◆ 「敬老の日」でお祝いされる対象は何歳からだと思いますか？
- (2) ◆ ゆとりある老後生活に必要な1カ月あたりの生活費(夫婦2名合計)はどの程度必要だと思いますか？
- (3) ◆ (2)の金額を確保するために、自助努力での準備を進めていますか？
- (4) ◆ 自助努力での準備はどのような手段で進めていますか？
- (5) ◆ 老後の生活費が準備できた場合(できている場合)余裕資金をどのように活用したいですか？
- (6) ◆ 老後の生活のために何歳まで働く予定ですか？  
もしくは働く必要があると思いますか？

○ ⇒ 贈る側への質問  
□ ⇒ 贈られる側への質問  
◆ ⇒ 全層への質問

【質問1】「敬老の日」のプレゼントについて

(1) 【贈る側への質問】「敬老の日」にプレゼントを贈りますか？（回答数:11,202名）

○ 敬老の日にプレゼント贈る予定の方は83.7%となり、今年度実施した父の日に関するアンケート結果を約25%上回る結果となった。



※「父の日」に関するアンケート調査結果について・・・平成25年6月13日リリース

(2) 【贈る側への質問】 プレゼントは何を贈る予定ですか？（回答数:9,371名）

(3) 【贈られる側への質問】 プレゼントは何がほしいですか？（回答数:1,190名）

○ 贈る側も贈られる側も1位は「食事・グルメ」。贈られる側は「旅行・温泉」が2位に続くが、贈る側との思いには開きがあるようだ。

(2)何を贈る予定ですか？

	[%]
1 食事・グルメ	32.7
2 衣類・アクセサリ	13.3
3 お菓子	13.1
4 花	12.9
5 現金・金券	6.4
6 酒類	6.1
7 電話でお祝い	4.0
8 健康グッズ	3.7
9 旅行・温泉	3.5
10 その他	2.4
11 手紙・メール	2.1

(3)何がほしいですか？

	[%]
1 食事・グルメ	26.9
2 旅行・温泉	17.6
3 酒類	11.3
4 現金・金券	8.7
5 花	8.0
6 手紙・メール	6.3
7 衣類・アクセサリ	5.4
8 電話でお祝い	5.3
9 お菓子	4.2
10 その他	3.6
11 健康グッズ	2.7

<ニッセイ基礎研究所 チーフエコノミスト矢嶋康次のコメント>

○ 「何がほしいですか？」という質問の回答に現在の家族の姿を垣間見ることができます。ほしいランキングの上位は「食事・グルメ」「旅行・温泉」と、物というよりはイベントが入っています。最近の流行りの「コト消費」です。

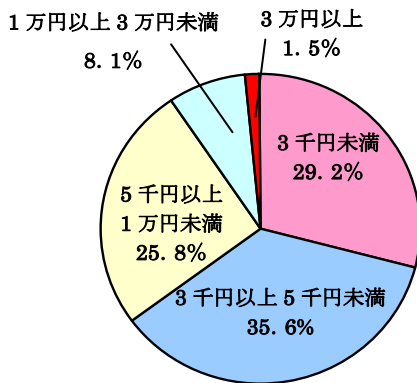
○ 高齢者のみ世帯が増加しており、子どもや孫と一緒に楽しめるイベントを希望する高齢者が多いことが背景にあるのでしょうか。

(4) 【贈る側への質問】「敬老の日」のプレゼントにかかる予算はいくらですか？ (回答数:9,921名)

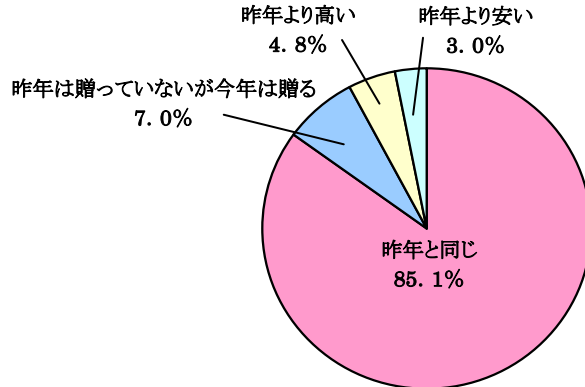
(5) 【贈る側への質問】昨年と比べて高いですか？安いですか？ (回答数:9,896名)

- 5千円未満が約65%を占めた。そのうち3千円以上5千円未満が35.6%で最多。(左グラフ)
- 予算が「昨年より安い」と回答した方は、わずか3%。一方、「昨年より高い」と回答した方や「昨年は贈っていないが今年は贈る」と回答した方をあわせると11.8%。
- 「昨年と同じ」が大半の85.1%を占めた。(右グラフ)

(4)プレゼントの予算は？



(5)昨年と比べて高いですか？安いですか？

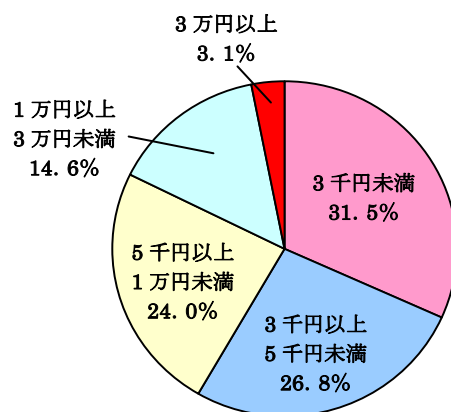


<ニッセイ基礎研究所 チーフエコノミスト矢嶋康次のコメント>

- アベノミクスの効果がプレゼントの予算にもでています。足元では2カ月連続で給与総額が対前年比で増加しています。少し懐にゆとりがでてきたのでしょうか。

(6) 【贈られる側への質問】プレゼントの希望金額は？ (回答数:1,189名)

- 5千円未満が約60%を占めた。そのうち3千円未満が31.5%で最多。
- 高額なプレゼントを希望するよりも、プレゼントを贈ってくれる気持ちが嬉しいという方が多いようだ。



【質問2】 老後の生活について

(1) 「敬老の日」でお祝いされる対象は何歳からだと思いますか？ (回答数: 18, 069名)

- 全年代では「70～74歳」が最多。続いて「60～64歳」、「65～69歳」となった。
- 年代別に見ると、40代以下では「60～64歳」が多い一方、50代以上では「70～74歳」が最も多く、現在、高齢の方ほどお祝いされる対象年齢は高いと考えているようだ。

[%]

	全年代	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
90歳以上	0.6	0.4	0.6	0.6	0.6	0.7	0.7
85～89歳	0.8	0.6	0.9	0.4	1.0	1.1	1.2
80～84歳	5.2	3.4	3.4	4.1	6.0	9.4	10.0
75～79歳	7.6	4.5	4.3	5.6	8.9	15.7	16.6
70～74歳	32.0	22.7	23.0	28.7	40.3	39.8	43.5
65～69歳	24.9	25.3	24.3	27.1	25.2	20.6	17.8
60～64歳	26.2	35.8	38.0	31.2	16.8	12.0	9.7
55～59歳	1.2	2.4	2.7	1.0	0.7	0.3	0.3
50～54歳	1.4	4.9	2.7	1.2	0.5	0.3	0.2
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

<ニッセイ基礎研究所 チーフエコノミスト矢嶋康次のコメント>

- 若者は定年を迎えるとお祝いの対象になると考え、シニア層は心身ともに若々しいうちはお祝いされる対象ではないと考える傾向があるのではないのでしょうか。

(2) ゆとりある老後生活に必要な1カ月あたりの生活費(夫婦2名合計)はどの程度必要だと思えますか？ (回答数: 17, 738名)

- 「30～34万」と「35万以上」で52.5%と半数を占めた。
- 40代以下と50代以上では「30～34万」「35万以上」をあわせると、10%以上の開きがあり、現在、高齢の方ほど多くの生活費が必要と感じているようだ。

[%]

	全年代	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
20万未満	8.9	13.9	13.3	9.6	5.8	4.0	8.0
20万～24万	23.9	28.2	29.8	27.3	19.5	14.2	17.1
25万～29万	14.6	11.5	13.5	15.1	14.5	17.0	13.7
30万～34万	35.1	32.0	30.9	33.6	39.4	38.3	36.4
35万以上	52.5	46.4	43.4	48.0	60.3	64.8	61.3
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

<ニッセイ基礎研究所 チーフエコノミスト矢嶋康次のコメント>

- 50代を境に、多くの生活費を必要と感じる方が増えますが、これにはプラスとマイナスの両面があるのではないのでしょうか。プラスは、これまで頑張ってきたご褒美にゆったりと老後生活を楽しまたいと思うこと。マイナスは、医療や介護などの健康上の不安が現実味を帯びてくる面が考えられます。

(3) (2)の金額を確保するために、自助努力での準備を進めていますか？ (回答数:18,069名)

- 「まあまあ進めている」と「まだまだ不十分」がほぼ同水準で多数を占めた。
- 50代以下と60代以上では「十分進めている」と「進めている」をあわせると、約10%の開きがあり、現在、高齢の方ほど自助努力での準備を進めている傾向があるようだ。

[%]

	全年代											
		~20代	30代	40代	50代	60代	70代~					
十分進めている	5.9	19.0	5.2	17.2	5.2	17.7	4.5	21.3	5.7	28.6	10.2	12.2
進めている	14.4	13.8	12.0	13.2	15.6	18.4	17.5					
まあまあ進めている	27.7	23.8	24.8	26.6	28.5	35.0	32.8					
まだまだ不十分	27.5	24.7	29.7	30.8	28.5	17.8	11.9					
不十分	11.4	9.0	12.0	12.7	11.7	8.0	8.1					
何もしていない	13.1	23.4	16.2	12.2	9.9	10.6	17.6					
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0					

(4) 自助努力での準備はどのような手段で進めていますか？ (回答数:7,593名)

- 「生命保険・個人年金保険」と「預貯金」で大半を占めた。
- 年代別に見ると、40代以下では「生命保険・個人年金保険」が多くを占める一方、50代以上では「預貯金」が多くを占めた。

[%]

	全年代							
		~20代	30代	40代	50代	60代	70代~	
生命保険・個人年金保険	44.6	58.0	52.8	47.5	40.0	32.4	23.1	
預貯金	44.5	36.5	40.3	42.8	48.1	50.4	52.1	
株・有価証券	8.7	4.3	6.0	7.9	9.6	12.9	18.6	
その他	2.2	1.2	1.0	1.9	2.3	4.3	6.2	
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

(5) 老後の生活費が準備できた場合(できている場合)余裕資金をどのように活用したいですか？

(回答数:18,069名)

- 「旅行・温泉」が37.5%で最多。続いて「日常生活費の充実」、「趣味・教養」。自身のために余裕資金を活用したいと考えている方が多いようだ。

[%]

	全年代	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
旅行・温泉	37.5	38.2	36.0	36.2	39.4	41.4	29.7
日常生活費の充実	27.1	26.1	28.2	28.4	25.7	24.0	31.0
趣味・教養	18.0	19.3	16.3	17.7	18.8	18.3	20.3
子どもや孫への資金援助	9.5	10.3	11.0	9.1	8.3	9.7	11.4
貯蓄	7.2	5.7	7.7	7.8	7.1	5.7	5.9
その他	0.8	0.4	0.7	0.8	0.8	1.0	1.8
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

<ニッセイ基礎研究所 チーフエコノミスト矢嶋康次のコメント>

- 余裕資金を自分自身のために活用する方が多いのは、老後をいかに豊かに過ごすかを考えているからではないでしょうか。

(6) 老後の生活のために何歳まで働く予定ですか？もしくは働く必要があると思いますか？

(回答数:16,824名)

- 「65～69歳」が全年代で最多となり半数以上を占めた。  
○ 年齢別に見ると、60代以上では「70～74歳」「75歳以上」が他の年代よりも高く、現在、高齢の方ほど長く働く必要があると感じている方が多いようだ。

[%]

	全年代	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
75歳以上(生涯現役含む)	11.7	6.4	11.5	12.3	9.9	12.1	30.7
70～74歳	18.0	12.3	16.1	17.8	16.6	25.4	29.3
65～69歳	51.0	52.9	52.9	50.8	52.7	48.2	33.2
60～64歳	17.4	24.6	17.1	17.0	19.1	13.5	6.8
60歳未満	1.9	3.8	2.4	2.1	1.6	0.9	0.0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

<ニッセイ基礎研究所 チーフエコノミスト矢嶋康次のコメント>

- 全年代が65～69歳まで「働く予定・働く必要がある」としているのは、年金の支給開始年齢を強く意識した結果とみていいでしょう。  
○ 引退世代でも一定程度働きたいとされる方がおられます。考えていた以上に元気で心身に衰えを感じず、働き続けたいという意欲が増すことを示しているのではないのでしょうか。高齢者の働く意欲と能力を実現できる労働市場の創出が今後重要といえます。

以上